

# 国立大学及び私立大学における IR 組織の形成

岩崎保道（高知大学 IR・評価機構）

蔭久孝政（琉球大学 学生部学生支援課）

白石哲也（清泉女子大学 情報環境センター）

橋本智也（四天王寺大学 教育学部／I R・戦略統合センター）

本報告は、大学が IR 組織を設置するに至った背景や経緯、組織概要などを取りまとめるとともに、組織形成の特徴、課題点などを整理するものである。その検討方法として、国立大学2校、私立大学2校の IR 組織の形成について事例紹介を行う。IR 組織の立ち上げは大学執行部の判断によるが、政策的誘導など外部要因の影響も少なからずあると思われる。そのような状況のなか、IR の組織形成に着眼した。

## 1. 国立大学及び私立大学における IR を取り巻く環境

国立大学における IR に求められるものとして、学長を中心としたマネジメントの支援や国立大学間の IR 組織間の連携などが挙げられるが、大学教育の質保証や大学のミッションをいっそう強力に推し進めるため、IR 組織の充実が緊急の課題といえる。私立大学の IR は、教育に関する IR の取組みが多い。建学の精神に基づく教育をより良くしていくことが、私立大学にとって重要であるからだと考えられる。

## 2. IR 組織の形成と組織概要（事例紹介）

### 2.1 高知大学 IR・評価機構

2016年に高知大学は IR・評価機構を設置した。設立に至った経緯は、マネジメント機能の強化に向けた組織改革に向けた必然性の議論が高まったからである。客観的な評価指標を定めて課題解決力を可視化させ、効率的な大学運営や改善・質保証に繋げる趣旨を持つ。2017年現在、同機構の構成員数は14名である。

### 2.2 琉球大学大学評価 IR マネジメントセンター

2017年に琉球大学は大学評価 IR マネジメントセンターを設置した。学長に対し、IR に基づく経営情報を提供することを目的とする。2017年現在、同センターの構成員数は23名である。

### 2.3 清泉女子大学教学 IR チーム

清泉女子大学における IR 組織の設立は、2013年に始まる。後の2016年度に IR 組織を教学チームと経営チームに分離した。2017年度現在、教学 IR を中心に教学系データに基づいた分析が行われている。教学 IR の構成員は8名である。

### 2.4 四天王寺大学 IR・戦略統合センター

四天王寺大学における IR 組織は2014年に設置された IR・戦略統合センターと IR・戦略統合課がある。センターには教員が所属し、課には職員が所属する。両組織は学長の下に設けられた。2017年現在、構成員は15名である。

## 小括

IR 組織を立ち上げた必然性ならびに組織形成は、各大学の事情により異なっていた。その背景は、国立大学は外圧的なもの、私立大学は政策誘導的な要因が大きく影響していると考えられる。

IR 組織の目的は、各大学の趣旨やビジョンに応じて、それぞれの方法により活用されることが目的に掲げられていた。構成員数は8名～20数名まで大学によって幅があった。分析対象分野は教育に限定せず、他の分野も対象にしている大学が多い印象を受ける。課題点は4大学の IR 組織が立ち上げられて数年程度ということもあり、成果の検証や制度設計に関するものなど、それぞれに多様な課題を抱えていた。

以上の検討の結果、IR 組織を立ち上げた必然性ならびに組織形成のプロセスや課題点は大学により大きく異なっていることが分かった。

## 参考文献

- 浅野茂ほか（2014）「大学におけるインスティテュショナル・リサーチ（IR）に関する研究」（2013年 WEB 調査）東京大学。  
 佛淵孝夫（2015）『大学版 IR の導入と活用の実際』実業之日本社、p.1.